

2020 年度 A E D 訓練器等助成事業 活動実績報告書

(2021 年度分)

団体名	社会福祉法人 俊英館福祉事業会
-----	-----------------



保育園で園児の命を預かり保育を行う上で、保育士のみならず給食職員や事務職員などを含め、職員一人ひとりの自主救護能力、心肺蘇生法・AED の使用方法・止血法などの習得及び救急車到着までの応急手当の重要性を認識し、救命率や安全管理に対する資質の向上を図ることを目的とし活動を行った。

実施方法としては、1 回の参加人数を制限し小グループで、普及員によるコロナウイルス感染症対策を踏まえた内容の普通救命講習と乳幼児の誤嚥性窒息事故を想定した訓練を行う。

訓練器や AED を使用しての心肺蘇生法や背部叩打法や腹部突き上げ法は、仕組みを理解でき、感覚をつかみやすく、不安や疑問を解消でき、実際に事故などに遭遇した際の救護を行う上での恐怖心が少なくなり、お手伝いできることならやってみよう、声をかけてみようと思うなど、前向きな参加者の声が聞こえた。小児と成人の両方に触れることができ、感覚の違いなどすごくわかりやすかったという感想もあった。

活動の成果としては、職員一人ひとりの資質の向上を図ることができ、乳幼児の命を預かる保育園としての安心安全の保障につながったと考えております。